

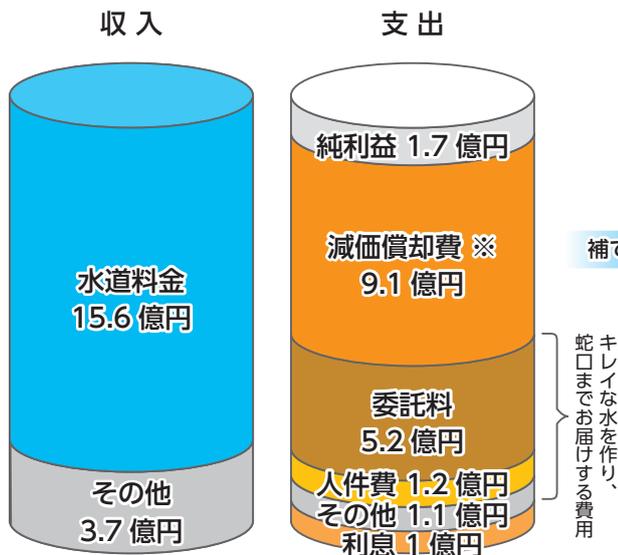
— 経営状況はどうなっているの? —



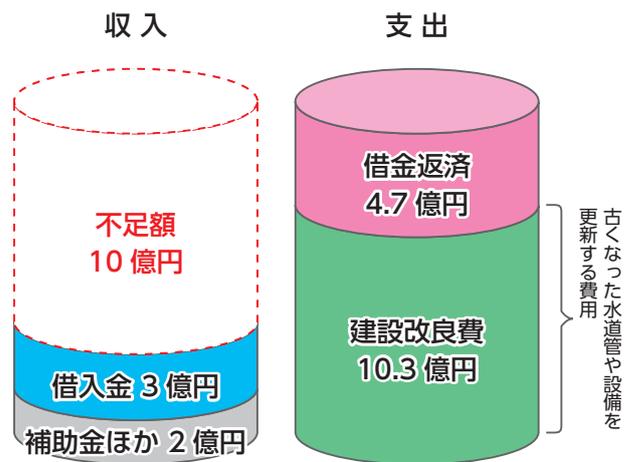
「一般会計」とは独立し、皆さんの利用料金などの収益で運営しています。
「収支」と「施設を建設・更新するための収支」の2つの財布で管理しています。

上水道事業

図A 事業を運営するための収支



図B 施設を建設・更新するための収支



分かりやすく教えてQ&A

Q 上水道の経営状況はどうなっているの？

A 上水道事業は、純利益1.7億円を確保し、黒字となっています(図A：事業を運営するための収支)。



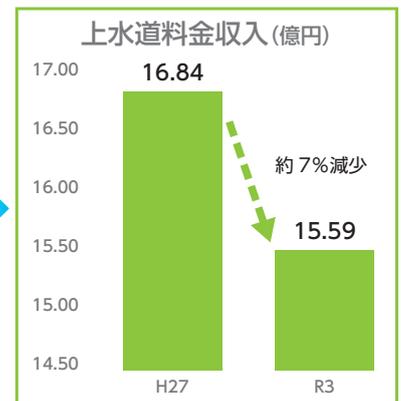
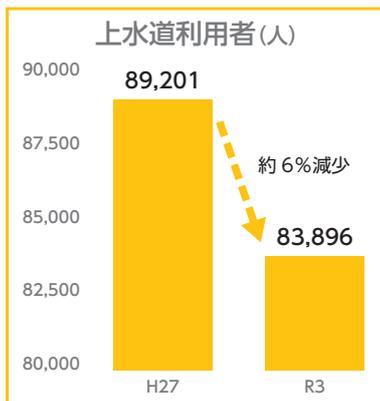
Q 不足額が10億円あるけど大丈夫なの？

A 不足額は、上水道事業を運営するための収支(図A)の純利益や減価償却費(※)で補うことができる仕組みとなっているので大丈夫です。



Q 今後はどうなるの？

A 下表のとおり、今後も人口減少や節水機器の普及により、上水道利用者や使用量は年々減少し、料金収入も減少していく見通しです。また、老朽化した水道施設の更新費用の増加が見込まれ、このままでは、近い将来、施設の更新が困難になってしまいます。



※減価償却費とは… これまでに建設した施設の価値の減少分を、費用として計上したものです。実際には、現金の支出を伴わないため内部に現金が残り、建設改良費の不足額を補う財源に利用することができます。